

みとせの月日

富士見市立西中学校だより

平成28年9月号



**西中学校
学校教育目標**

**【知】深く考え学習する生徒
【徳】正しく行動する生徒
【体】健康で明るい生徒**

～充実した2学期を送ろう！～

35日間の夏休みが終わり、2学期が始まって早や3週間が経ちました。この夏休み、リオデジャネイロオリンピックが開催され、日本人選手が大活躍し、我々に大きな希望と勇気を与えてくれました。頑張る選手の姿から何かを学び取った生徒も多いと思います。

西中でも運動部で県大会に出場した部は猛暑の中、精一杯活躍してくれました。特に野球部は県大会ベスト8という輝かしい成績を挙げ、1年の守友晃子さん、2年の松森小夏さんは水泳で関東大会に出場するという活躍をしました。この夏で3年生は引退をしましたが、後輩達へ確実にバトンを引き継いでくれたと思います。2年生を中心に部活動で西中をさらに盛り上げていてもらいたいと思います。また、1年生は中学校生活で初めての夏休み、体力的にはかなり厳しかったと思います。しかし、この夏休みに打ち込んだ学習や部活動等の経験は、2学期以降必ず生きていくと信じています。

また、2年生は3日間の職場体験を経験しました。この貴重な体験を活かし自分の進路を考える上での参考にしてもらいたいと思います。

さて、2学期は1年中で一番さわやかな気候に恵まれ「スポーツの秋」や「読書の秋」といわれるように、勉強や運動に打ち込める絶好の季節です。また、中学生が大きく成長する時です。しっかりと目標をもって日々の授業に集中し、行事や部活動にも積極的に取り組んで自分自身を鍛えてほしいと思います。特に3年生にとっては、これからの「生き方」を決める大事な学期です。辛いことから逃げないで真っ正面から立ち向かって「自分の進路」を切り拓いていくことを願っています。

みなさんにとって「努力する」ということが目標達成のために重要な意味をもっています。「努力すれば、他人にできることは、自分にもできるはずだ」と自分に言い聞かせて毎日を過ごしてほしいものです。それからもう一つ「明日からがんばろう」と自分にいっていることはありませんか。私達にとってこの「明日」ほど都合のよい言葉はありません。明日になったらまた明日と、一日一日と延ばしていくこととなります。昨日いった明日は「今日」なのです。今日を一杯生きようとしない人は、明日になっても精一杯の努力は望めないのではないのでしょうか。皆さんには、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そうすることによって、自分に自信がもて、心に余裕が生まれ、心も豊かになり、友達にも温かく接することができるようになります。そうすれば、いじめなど起きないはずですよ。

2学期は授業日数が一番多く、また、合唱コンクールや修学旅行などの行事が多くあります。一日一日を大切に学習に、行事に、部活動に全力で取り組むことを期待しています。

健康で安全な生活を考えよう！

9月1日は防災の日でした。まだまだ暑い日が続いています。熱中症には十分注意すると共に、地震や台風、雷等が発生した場合どのように行動するのか真剣に考える必要があります。「自分の命は自分で守る」が基本です。